

平成 24 年 度

仙 台 市 水 道 事 業 会 計

決 算 説 明 資 料

- 1 決 算 の 概 況
- 2 事 業 実 績 表
- 3 予 算 決 算 比 較 表
- 4 建 設 改 良 事 業 の 概 要
- 5 東 日 本 大 震 災 の 影 響 に つ い て

仙 台 市 水 道 局

1. 決算の概況

本年度の水道事業は、「仙台市水道事業中期経営計画」（平成 22 年度～平成 26 年度）に基づき、水道施設の整備を図りながら、お客さまへの安全・安心で良質な水の安定供給に努めてまいりました。

事業実績につきましては、年間総配水量が 1 億 2,178 万 4 千立方メートル、前年度比 3 万 2 千立方メートル（0.03%）減、年間有収水量が 1 億 1,348 万立方メートル、前年度比 541 万 3 千立方メートル（5.0%）増となり、有収率は前年度より 4.5 ポイント向上して 93.2%となりました。

経営面につきましては、東日本大震災の影響により大幅に減少していた給水収益が、震災後の人口流入に伴う使用給水栓数の増加や生活用及び業務用の有収水量の増加により、震災前に近い水準まで回復しました。

次に、建設改良事業につきましては、配水管整備事業で、老朽铸铁管等更新工事や配水管新設工事等を行い、33 億 2 千 8 百万円を支出し、配水管延べ 33,728 メートルを布設しました。また、施設整備事業では、無線通信設備中継線無線化工事や茂庭第一配水所電気設備更新工事を行ったほか、災害時の被害拡大防止や迅速な災害復旧が可能となるよう配水ブロックの再編成等を行い、22 億 8 千万円を支出しました。

財政状況につきましては、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において、総収益が 265 億 2 千 1 百万円、総費用が 240 億 9 千 2 百万円で当年度純利益は 24 億 2 千 9 百万円となり、前年度繰越欠損金の 7 億 5 千万円を補てんし、当年度末の未処分利益剰余金は 16 億 7 千 9 百万円となっております。

以上が決算の概況でございますが、需要の動向等を見極めながら、今後とも計画的かつ効果的な事業運営とサービスの向上に努め、安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて、市民の暮らしや地域産業を支え、お客さまに一層信頼される水道事業を目指してまいります。

2. 事業実績表

区 分 \ 年 度	単 位	平成24年度 (E)	平成23年度 (F)	対前年度比較	
				増減(△減) (E-F)	比率 (E/F)%
計画給水区域内人口 (A)	人	1,041,659	1,032,522	9,137	100.9
給水人口 (B)	人	1,037,351	1,028,015	9,336	100.9
年間総配水量 (C)	m ³	121,783,863	121,816,255	△ 32,392	100.0
（仙台市配水量）	m ³	（ 117,740,445 ）	（ 117,692,494 ）	（ 47,951 ）	（ 100.0 ）
（他市町分水量）	m ³	（ 4,043,418 ）	（ 4,123,761 ）	（ △ 80,343 ）	（ 98.1 ）
配水能力	m ³ /日	429,115	429,815	△ 700	99.8
一日平均配水量	m ³	333,654	332,831	823	100.2
一日最大配水量	m ³	366,751	366,640	111	100.0
使用給水栓数	栓	420,586	412,683	7,903	101.9
年間有効水量	m ³	116,349,089	110,913,451	5,435,638	104.9
年間有収水量 (D)	m ³	113,480,466	108,067,120	5,413,346	105.0
配水管延長	km	3,370	3,358	12	100.4
職員数 （管理者除く）	人	406	416	△ 10	97.6
普及率 (B/A)	%	99.6	99.6	0.0	-
有収率 (D/C)	%	93.2	88.7	4.5	-

3. 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成24年度 予 算 額						平成24年度 決 算 額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B) - (A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額	予備費 支出額	流 増 減 額	用 繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業収益	26,570,728	913,000	0	0	0	27,483,728	27,799,552	315,824	0
営業収益	25,193,220	740,000	0	0	0	25,933,220	26,052,209	118,989	0
給水収益	24,212,833	740,000	0	0	0	24,952,833	25,058,088	105,255	0
受託工事収益	93,011	0	0	0	0	93,011	73,255	△ 19,756	0
その他営業収益	887,376	0	0	0	0	887,376	920,866	33,490	0
営業外収益	1,375,730	153,000	0	0	0	1,528,730	1,735,556	206,826	0
受取利息	6,000	0	0	0	0	6,000	16,859	10,859	0
不動産賃貸料	36,671	0	0	0	0	36,671	37,232	561	0
水道加入金	699,389	100,000	0	0	0	799,389	1,007,199	207,810	0
他会計補助金	608,042	0	0	0	0	608,042	571,241	△ 36,801	0
国庫補助金	4,788	53,000	0	0	0	57,788	61,481	3,693	0
雑収益	20,840	0	0	0	0	20,840	41,544	20,704	0
特別利益	1,778	20,000	0	0	0	21,778	11,787	△ 9,991	0
固定資産売却益	1	20,000	0	0	0	20,001	7,978	△ 12,023	0
過年度損益修正益	1,777	0	0	0	0	1,777	3,809	2,032	0
水道事業費用	26,108,110	△ 124,000	0	0	41,633	26,025,743	25,144,003	△ 881,740	0
営業費用	23,826,098	△ 239,000	0	△ 30,261	41,633	23,598,470	22,761,631	△ 836,839	0
人件費	3,594,491	△ 179,000	0	0	0	3,415,491	3,231,961	△ 183,530	0
物品費	435,620	0	0	17,179	0	452,799	317,276	△ 135,523	0
経費	5,215,274	0	0	△ 17,691	41,633	5,239,216	5,014,941	△ 224,275	0
受水費	7,035,520	0	0	△ 29,749	0	7,005,771	6,792,848	△ 212,923	0
減価償却費	7,200,612	△ 40,000	0	0	0	7,160,612	7,154,969	△ 5,643	0
資産減耗費	344,581	△ 20,000	0	0	0	324,581	249,636	△ 74,945	0
営業外費用	2,195,771	115,000	0	13,006	0	2,323,777	2,316,450	△ 7,327	0
支払利息	1,824,744	△ 15,000	0	0	0	1,809,744	1,804,469	△ 5,275	0
繰延勘定償却	70,896	0	0	0	0	70,896	70,896	0	0
消費税及び 地方消費税	297,131	130,000	0	13,006	0	440,137	440,137	0	0
雑支出	3,000	0	0	0	0	3,000	948	△ 2,052	0
特別損失	56,241	0	0	17,255	0	73,496	65,922	△ 7,574	0
過年度損益修正損	55,200	0	0	17,254	0	72,454	65,238	△ 7,216	0
その他特別損失	1,041	0	0	0	0	1,041	684	△ 357	0
固定資産売却損	0	0	0	1	0	1	0	△ 1	0
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	△ 30,000	0
当年度純損益(税込み)	462,618	1,037,000	-	-	△ 41,633	1,457,985	2,655,549	1,197,564	0
当年度純損益(税抜き)	182,512	1,126,048	-	-	△ 39,650	1,268,910	2,428,435	1,159,525	0
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 749,587	0	-	-	-	△ 749,587	△ 749,587	0	-
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 567,075	1,126,048	-	-	△ 39,650	519,323	1,678,848	1,159,525	0

(注1) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(注2) 特別損失中の固定資産売却損については、決算額は132円である。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	平成24年度予算額					平成24年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)	翌年度 繰越額
	当初予算額	補正予算額	流 増 減 額	用 繰 越 額	合 計 (A)			
水道事業資本的収入	3,454,594	△ 351,884	0	927,204	4,029,914	3,225,871	△ 804,043	826,975
企業債	2,500,000	△ 500,000	0	851,000	2,851,000	2,150,000	△ 701,000	701,000
固定資産売却代金	1	21,000	0	0	21,001	647	△ 20,354	0
出資金	478,076	6,116	0	8,500	492,692	455,035	△ 37,657	27,555
国庫補助金	24,000	7,000	0	1,078	32,078	22,906	△ 9,172	6,216
開発負担金	182,969	190,000	0	0	372,969	443,035	70,066	0
負担金	261,519	△ 87,000	0	66,626	241,145	134,494	△ 106,651	90,372
その他資本的収入	8,029	11,000	0	0	19,029	19,754	725	1,832
水道事業資本的支出	12,130,973	△ 482,362	0	1,958,632	13,607,243	11,143,056	△ 2,464,187	1,843,960
建設改良費	6,715,387	△ 447,000	0	1,958,632	8,227,019	5,763,396	△ 2,463,623	1,843,960
配水管整備事業費	3,823,351	△ 93,000	△ 632	1,114,596	4,844,315	3,327,900	△ 1,516,415	1,322,930
施設整備事業費	2,415,314	△ 200,000	27	756,735	2,972,076	2,280,698	△ 691,378	411,429
受託等工事費	476,722	△ 154,000	605	87,301	410,628	154,798	△ 255,830	109,601
企業債償還金	5,415,586	△ 39,000	0	0	5,376,586	5,376,022	△ 564	0
その他資本的支出	0	3,638	0	0	3,638	3,638	0	0
差 引	△ 8,676,379	130,478	0	△ 1,031,428	△ 9,577,329	△ 7,917,185	1,660,144	△ 1,016,985
補てん財源	11,658,730	1,057,098	0	991,778	13,707,606	13,774,438	66,832	1,016,985
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	280,106	△ 28,950	0	90,024	341,180	227,114	△ 114,066	83,417
損益勘定留保資金	7,500,288	△ 40,000	0	941,404	8,401,692	7,423,065	△ 978,627	933,568
当年度純損益	182,512	1,126,048	0	△ 39,650	1,268,910	2,428,435	1,159,525	0
前年度繰越金	3,695,824	0	0	0	3,695,824	3,695,824	0	0
当年度末資金剰余額	2,982,351	1,187,576	0	△ 39,650	4,130,277	5,857,253	1,726,976	0

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円、%)

資金不足額	事業規模(※)	資金不足 比率
(A)	(B)	(A)/(B)
0	24,750,315	-

※事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

○未処分利益剰余金の処分(案)について

未処分利益剰余金 1,678,848,229円については、全額を減債積立金に積み立てる。

4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

事業名	平成24年度 事業費	主たる事業
配水管整備事業	3,327,900	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽铸铁管等更新工事 (口径 75～400ミリ 20,929.3 m) ・ 配水管新設工事 (口径 75～500ミリ 7,999.3 m) ・ 配水管等整理 (口径 30～200ミリ 4,799.4 m) <p style="text-align: right;">計 33,728.0 m</p>
施設整備事業	2,280,698	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無線通信設備中継線無線化工事 ・ 茂庭第一配水所電気設備更新工事 ・ 将監送水ポンプ場大沢系送水ポンプ設備更新工事 ・ 中原浄水場次亜塩素注入設備更新工事
受託等工事	154,798	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富沢駅周辺土地区画整理地内配水支管新設工事 ・ 仙台駅東第二土地区画整理地内配水支管新設工事 ・ 国道45号苦竹一丁目及び银杏町地内配水支管移設工事
計	5,763,396	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

5. 東日本大震災の影響について

(1) 施設の復旧状況

(単位：百万円)

分類	24年度事業内容	22・23年度	24年度	25年度	計
浄水施設	福岡浄水場（進入路・管理本館前法面崩落復旧等）ほか	153	85	0	238
配水施設	安養寺配水所（内面・電気配管復旧等） 向陽台配水所（槽内補修，法面復旧等）	214	156	18	388
	青葉山隧道配水所（詳細設計業務）	0	17	647	664
水道管	折立五丁目，高野原二丁目，緑ヶ丘三丁目，吉成二丁目 ほか	514	165	127	806
庁舎等	- 24年度該当なし -	58	0	8	66
検査機器	- 24年度該当なし -	32	0	0	32
計		971	423	800	2,194
財源	国庫補助金	187	84	33	304
	他会計繰入金	179	75	15	269
	その他	605	264	752	1,621

※ 25年度は予算額および前年度からの繰越額

復旧額については、23年度までに約9億7千1百万円、24年度に約4億2千3百万円、25年度が約8億円で合計約21億9千4百万円と見込んでおり、浄水施設や水道管等の主な水道施設は概ね24年度までに復旧しております。

今年度は丘陵部等の宅地復旧に伴う管路整備や青葉山隧道の改良工事等に取り組む予定です。

(2) 平成24年度決算への影響

収益については、東日本大震災の影響により大幅に減少していた給水収益が、震災後の人口流入に伴う使用給水栓数の増加や生活用及び業務用の有収水量の増加により、震災前に近い水準まで回復しました。

また、災害復旧事業に対する国庫補助金として約8千4百万円、一般会計繰入金として約7千5百万円などを受け入れています。

費用については、上記(1)のとおり、平成24年度決算に計上された被災施設の復旧費として、約4億2千3百万円となります。

(3) 平成25年度以降の見通し

水道事業における震災の影響は少なくなりつつありますが、震災を教訓とした施設・管路の耐震性強化や災害時における断水などの被害拡大防止のための主要配水幹線整備、給水施設の整備など、災害に強い水道基盤づくりを推し進めてまいります。